

【北大東村教育委員会】

校務 DX 計画

北大東村の教育現場における DX 化を推進するため、以下の項目を定め、校務 DX を推進していく。北大東村教育委員会では、教職員の業務効率化、ペーパーレス化、そして質の高い教育活動の実現を目指す。

1. クラウドサービスの活用促進

- ・教職員向けのクラウドツール導入研修の実施：校務支援システムのクラウド化を促進し、データ連携による業務効率化の実現を目指す。
- ・校務支援システムの導入完了（令和 8 年度まで）に向け、校務系・学習系ネットワークの調査・検討を行い、教育委員会・学校が連携を図りながら、令和 7 年度までに校務支援システム導入の準備を進める。
- ・セキュリティ対策の強化：教職員に対して、クラウドサービス利用時のセキュリティ対策に関する研修を実施し、情報漏洩のリスクを最小限に抑える。

2. 校務 DX 推進体制の構築

- ・ICT に関するサポート体制の充実：教職員の ICT 活用能力向上と積極的な授業への活用を促進するため、「ICT 支援員」の配置を要請する。
- ・教職員のスキル向上：外部講師や専門家による研修を実施し、教職員のスキル向上を支援する。

3. FAX・押印の見直し

- ・行政機関、外部事業者との連携強化：行政機関や外部事業者との連携を強化し、ペーパーレス化を推進していく。
- ・電子署名、認証システムの導入検討：制度・慣行の見直しを図るとともに、電子署名、認証システムの導入を検討し、FAX や押印に頼らない業務体制を構築していく。

4. 不必要な手入力作業の一掃

- ・校務支援システムへの名簿情報の入力については、導入後より市教委から学校へデータを提供することで合理化を図る。

5. ペーパーレス化の推進

- ・会議資料のデジタル化：会議資料をデジタル化し、ペーパーレスな会議運営を促進する。

- ・デジタル教材の活用促進：デジタル教材の活用を促進し、紙ベースの教材の利用を減らす。
- ・保護者との情報共有強化：行政・学校からの連絡の迅速化及び紙使用削減を推進する。